

## (別紙)

1様式第1号(第5条関係)

## 会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度 第3回美幌町総合計画審議会 第1部会
開 催 日 時	平成30年12月10日(月) 18時30分 開会 20時45分 閉会
開 催 場 所	美幌町民会館 会議室3・4
出 席 者 氏 名	第1部会委員 三坂委員、杵師委員、平田委員、木村委員 町 広島総務部長、小室総務主幹、遠國庁舎建設主幹、 河端防災危機管理主幹、田中まちづくり主幹、中尾財務主幹、 中村消防長、志賀本部次長、田村教育部長、以頭学校教育主幹、 岩田学校給食主幹、露口社会教育主幹、斉藤町民会館主幹、 浅野スポーツ振興主幹、鬼丸博物館主幹、竹花図書館長
欠 席 者 氏 名	向平委員
事務局職員職氏名	小室政策主幹、長尾政策担当
議 題	第6期総合計画基本計画(中期)素案について 基本目標1・5
会議の公開又は 非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	
資 料 の 名 称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第6美幌町期総合計画 基本計画(中期)素案</li> <li>・ 第6期美幌町総合計画(平成28年度～30年度)基本計画(前期)評価結果報告書</li> <li>・ 第6美幌町期総合計画 前期(平成28年度～平成30年度)評価結果</li> <li>・ 第6美幌町期総合計画 中期(平成31年度～平成34年度)施策及び事務事業</li> </ul>
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した全部記録
	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
三坂部会長	<p>それでは前回に続いて第2回目の委員会を開催したいと思います。よろしく申し上げます 先に前回資料請求をしたかと思いますが、その説明をお願いします。</p>
田中まちづくり主幹	<p>それでは、お手元にA4用紙2枚あると思いますけれど、横書きのやつを見ていただきたいと思います。 美幌町まちづくり活動奨励事業補助金活用実績ということで、こちらは中期素案の10ページです。1番上「②まちづくり団体による活動促進」の関係でございます。 平成27年はご覧のとおり2件、平成28年が1件、平成29年も1件で、事業内容や団体名、補助金額についてはご覧のとおりとなっておりますので、ご確認願います。 ちなみに、平成30年度につきましては、今のところ申請はございません。 続きまして「③まちづくり活動への反映を意識した研修の実施」です。こちらは、児童・生徒国内外研修交流事業負担金ということで、27年からの実績はゼロということですので、資料等は付いていませんのでご了承願います。 私からは以上です。</p>
中尾財務主幹	<p>引き続きましてA4の縦のふるさとづくり基金繰入金の内訳をお願いします。 書いているとおりなのですが、ふるさとづくり基金というのが、ふるさと創生事業を原資としまして、元年に設置され、豊かな活用から本町の発展を図るため个性的かつ魅力的な、まちづくり事業等に充当ということで、29年の実績であります。ケンブリッジ交流の実行委員会の派遣ということで、国際交流事業費ですとか和牛祭りや冬まつり、夏祭りの補助金、基金の繰入額が32,651,000円。 30年度末の見込みでございますが、95,793,000円ということになっております。 簡単ではございますが、こちらの資料の説明を終了いたします。</p>
三坂部会長	<p>質問はありませんか。無ければ次の方へ進めていきます。 それでは前回の続きということで1-6の地域情報化の推進についてお願いします。</p> <p><b>1-6 地域の情報化の推進</b></p>
広島総務部長	<p>それでは、素案の29ページです。前期評価結果報告書の方が12ページになります。 この前期評価の中で見ていただければわかると思いますが、①の情報化の基盤整備が、達成度が1ということで達成をされていないという評価になってございます。これは、光ファイバー網の整備について農村地区における整備がされていないという状況の中で、平均値が1.0という形になっているところでございます。市街地においては民間業者により拡大をされている状況にありますが、農村部の整備については相当な費用を要するというところでございます。それで、民間の方でこの農村部まで拡大できるかどうかということも含めて、農村部においてはどのような整</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>広島総務部長</p>	<p>備が良いのか、あるいは補助制度の内容などを確認しながら、様々な角度から調査研究を図っていきたいということを進めていききたいということにしています。</p> <p>また、もう一つの情報通信の活用促進でございますが、これにつきましては、様々な形で取り組みを進めているところでございます。Facebookの担当におけます公開試験、あるいは検診等での簡易申請システムによる受付を順次拡大して来ているところでございます。</p> <p>中期の素案の中では1ページという短いページとなっておりますけれども、情報の多様化によって利便性の向上を図っていくということも1つの政策の柱であろうと思っておりますので、SNSを活用した情報発信等についても中期の中では検討しながら、利便性向上に向けて取り組みを進めていくという形での素案になってございます。</p> <p>また、③の公衆無線LANの整備充実についても、Wi-Fi化について公共施設において今順次拡大を図っているところでございます。簡単ではございますが、地域情報化の推進については以上でございます。</p>
<p>三坂部会長</p>	<p>はいこれについてご質問はありませんか。 よろしいですか。</p>
<p>広島総務部長</p>	<p><b>1-7 防災体制の強化</b></p> <p>次は防災体制の強化ということで、素案が30ページと前期の結果報告が13ページになります。この13ページの評価の中では、平均値が5.0ということで、順調に計画が進んでいるというところでございます。</p> <p>これにつきましては、防災計画の更新あるいは備蓄計画に基づく備蓄品の整備、または関係者団体との連携体制の構築等において順調に進んで来ているという風に考えているところでございます。</p> <p>防災について、30ページから33ページまでの中期素案の中においては、これら必要な見直しについては、逐次進めていくということと同時に、新たに災害時におけます業務継続計画の中で、BCPという記載があるかと思いますが、これが32ページの黄色くなっているところでございます。</p> <p>これは中期で追加をさせていただいたものでございます。このBCPというのは、大きな災害が発生したときに、通常業務を継続的に行うことが不可能ということになりますので、そういった中で限られた人数、あるいは機材を以って優先すべき業務を特定し、その体制をあらかじめ策定した中で、町民生活に支障がない形の計画を作るというもので、中期の中ではこの計画を作っていくということの策定業務について追加をさせていただいたところでございます。</p> <p>また災害につきましては、9月に発生いたしました胆振東部地震においてブラックアウトということで、防災計画の中でも想定していない事象が発生したという状況にあります。これに対する新たな課題等も整備が必要だろうという風に考えておりますが、どのような災害がどのような規模で起きるかまるっきりわからない状況になって来たので、それが全国各地で見られているという感じがしております。</p> <p>本町においても、あらゆる災害を想定しながら防災訓練を始めとして、日常からその対応に万全を期していききたいという風に考えてございます。</p> <p>防災については備品等も含めて、資機材や避難所に配置する生活用品、暖房器具も含めて逐次購入をしながら避難所生活においても支障がない</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
広島総務部長	<p>体制整備を図っていきたいと考えております。</p> <p>また、32ページの(2)の自助的活動促進の活動ということで、それぞれ各地域に自主防災組織もございますし、防災リーダーというのも養成講座の中で作られて来ております。そういった方々あるいはそういった組織を活用しながら、地域においても防災に対する自助活動を中心となっただけのメンバーあるいは組織を作っていくということが大事だろうと思っておりますので、これらもそれぞれ自治会の方とも連携を図りながら、取り組みを進めていきたいという形で中期の中では計画をしているところでございます。</p> <p>防災体制については以上でございます。</p>
三坂部会長	<p>これらについて質問はありますか。</p> <p>この防災は水害も含まれるだろう。</p>
広島総務部長	<p>はい。</p>
三坂部会長	<p>日の出地区のは終わったのか。</p>
広島総務部長	<p>日の出地区は新たな窠場が設置されて、そこにポンプ等も設置する準備が終わったのですが、今年は大雨被害が出るようなものが無かったので、その排水能力がどの位アップしたのかということがまだ検証できてませんけれども、一応計画の中では新たな窠場を設置することによって、排水能力が向上するだろうと考えております。</p>
三坂部会長	<p>1つですか。</p>
広島総務部長	<p>窠場は1つですね。ポンプは3つです。</p>
三坂部会長	<p>排水能力が上がるかもしれない。なので心配ないな。</p>
広島総務部長	<p>ただ、それで全てが解決するかわからないですけれども、どちらかという内水の処理に、川の水もそうなのですが、上から来る水が集まってくるということで吹き出ることもございますので、それらの対策も合わせて、全部あそこに集まってくるので、排水能力を上げて内水の処理をしていくということになるかと思うのですが、その大雨の度合いによって、それで処理できるかというところについてはまだ何とも言えません。計算上は大体という感じもあります。大きな災害がないので検証はしきれてないところがあります。</p>
平田委員	<p>それと、川の流れによって、相対的に水が増えてしまうと、川の流れが止まってしまうから、いくら組み上げてもどうにもならない。</p>
木村委員	<p>網走川の水位が上がったら美幌川の水が危ないという。根本的に解決をしようと思ったら、別にもう一つ道を作るしかない。</p>
広島総務部長	<p>それと、川底が相当上がっているはずなのです。美幌川は川底が高くなってきており、その分川の水が溢れ出るということです。川を掬っていただかないといけない。</p> <p>これは下流からやっつけていかなければ意味が無いので、相当の年数と相</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
広島総務部長	<p>当な資金が必要だと思います。最終的にだめであれば川底をさらっていただくか、女満別にあります揚水機みたいなものを作っていただかない限りは、全ての解決にはならない。</p>
平田委員	<p>でも網走湖だって水位が上がってしまえば、川が流れて行かないということでしょう。</p>
三坂部会長	<p>それでもあれで大分畑は違う。</p>
広島総務部長	<p>通常から回すような形にはなっているのですが、それでも大雨のときには全て対応しきれていないのかなと思います。</p>
三坂部会長	<p>いずれにしても充分被害のない対応をしていただかないと、毎度あそこばかりで。網走川の方は割と良い。行っても美禽の方。町のほうに流れる気配はないし。</p>
木村委員	<p>網走川の方は水が上がっても排水とかは大丈夫なのですか。</p>
広島総務部長	<p>網走川も排水をやっています。ポンプアップはしています。これは網走川に入っていく水もあって、これらも含めて排水対策はやっているのですが、堤防が高いということで中々飛び越えて住宅地や畑に冠水があるということは多分無いだろうと。 河川敷に借りている畑だとかそういうものについては、冠水の恐れがあると思いますけれども。</p>
三坂部会長	<p>今まで堤防のところまで来たのは1回だけ。あれ以外は無いです。あのとき津別はひどかった。 いずれにしてもよろしくお願いします。</p>
広島総務部長	<p>総務の関係は以上になりますので、次は消防救急体制の強化ということで中期素案は34ページからとなります。消防が終われば次は教育委員会という形になります。</p>
中村消防長	<p><b>1-8 消防・救急体制の強化</b></p> <p>1-8の消防・救急体制の強化につきまして、素案は34ページから36ページまでです。前期評価結果報告につきましては、14ページです。 まず、前期評価の結果報告書において、6項目の評価のうち③の消防団の充実が4,0、④の救急体制の強化が3,0と評価が低いこととなっておりますが、これについては、下段の特記事項にも記載のとおり、着手する事業がなかったものでございます。 中期の素案といたしましては、消防車両や資機材の更新整備、通信指令施設や消防救急デジタル無線の更新整備を行い、消防体制の充実強化を図りたいとするものです。 救急車両や資機材の更新整備については、平成28年より高規格救急車が3台体制となっております、救急体制の強化を引き続き図りたいと考えています。 消防設備の整備につきましては、昭和49年の建設から45年を経過した消防庁舎が平成26年に実施しました耐震診断において耐震性能が不足し</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
中村消防長	<p>ていると診断されたことから、防災拠点施設として高い耐震能力を備えた消防庁舎に建て替えを行うものであります。</p> <p>以上が、前期評価結果と、中期における素案の説明でございます。</p>
三坂部会長	<p>消防については大まかなところ順次進んでいるところですが、建て替えはいつやるのか。</p>
中村消防長	<p>平成31年度からです。</p>
平田委員	<p>何年かかるのですか。</p>
中村消防長	<p>32年度末には外構残して本体工事、車庫含めて終わらす計画でございます。</p>
平田委員	<p>1年位かい。</p>
中村消防長	<p>1年半位かかります。</p> <p>現有地を使って建て替えるものですから、若干期間がかかるのかなと思っております。</p>
三坂部会長	<p>前に、救急搬送の予防事故で道路の拡幅を頼んでいたのだけれどどうなったのか。</p>
中村消防長	<p>年に1、2回は道道関係、国道関係を開発の方からアンケートの様な形で来て、国道の拡幅が必要かというのは来ておりますので、消防としては救急搬送上高規格道路の整備ですとか、拡幅をしていただければありがたいという報告はしております。</p>
三坂部会長	<p>今の39号線北見までのやつ、緋牛内までは来ているけれども、この間を早急に3車線化できれば良いなということを頼みたい。</p>
志賀本部次長	<p>毎年要望調査ということで北見網走ですとか、救急の搬送実績を含めて、調査と、担当者の方からお話を聞いているのですけれども、この道路整備についてはやはり消防側としての要求については、実態を含めてお話をさせていただいてるところではあります。</p>
三坂部会長	<p>これは消防と行政が一緒になってやらないと前に進まない。高規格道路も大事だけれど、やはり人命尊重から行くと緊急車両が走るというところを拡幅していけば。留辺蕊も大分やっているところだから。本庁は緋牛内までで来ているということは知っている。早くこっちをしてもらえれば助かる。よろしくお願いします。</p> <p>その他で質問等がありましたらお願いします。</p> <p>だけど火事が少なくて良いよな。</p>
中村消防長	<p>今年若干多いのですけれども、去年と一昨年は極めて少なかった。例年の半分位。救急件数は、人口減少があっても件数は一向に減らない。美幌町で行けば年間、950件から980件というところなんです。その中でご不便が、医師の確保ができていなくて、直接北見網走に運ぶ転移搬送がここ2、3年、3、4年前に比べると100件ぐらい違う。例年多い時は320件位北</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
中村消防長	見や網走に運んでいた。今は大体170件位。その転移搬送は減っているのですけれども救急出動の相対としては増えている形です。
平田委員	街の中に運ぶというのが増えているということですね。
中村消防長	そうですね。救急搬送の9割以上が国保病院に運んでおります。医師や看護師、スタッフが充実すれば、転移搬送が減ってくる。
平田委員	けどそうやって、救急車の稼働率が上がるということは消防機関というか、あまり無いときより頻繁に走ると車両が痛んでくるでしょう。その買い替えというか補助を受けてやる時期とか救急車の更新とかというのは、割合にしては車両の入れ替えも早くなって来ているのですか。
中村消防長	平成28年度に、高規格救急自動車が3台体制になって、平均10年もしくは12年位で消防車両、中の資機材も含めて更新という計画ではあります。
志賀本部次長	当時高規格が1台で、2B型という昔ながらの救急車で体制を組んでいるときには7年で更新ということで計画を作っていたのですが、今は高規格救急自動車が3台という体制にさせていただいておりますので、これにつきましては偏りなく順次順番に出しており、車自体の性能が良くなっていることもありますけれども、この3台というのは当組合の規模で言うところかなり充実している救急体制だと思っております。
木村委員	美幌だけで3台ですか。
志賀本部次長	そうです。津別を入れると組合で4台運用しております。実際に平成21年に指令台の方を組合で一元化ということで、美幌と津別を1カ所で受けることにしたのですが、そのときは共同運用ということで火事、救急含めて、どのエリアで災害が起きても、不足する車両や人についてはそれぞれが出動させるというような運用しておりますので、救急車についても消防隊についても不足がない状況にはなっております。
三坂部会長	美幌は高い建築物がないから良いけど、高所のやつは間に合うのですよ。
中村消防長	はしご車については平成25年度に高所活動車という形で整備したのですけれども、今ある高所活動車が20メートル。その前にもはしご車があったのですけれども、それが14メートル。それより6メートル高い形です。人の搬送も3名しか乗れなかったのが、重さで言えば750キロまで。約10名位は搬送できるという形になっております。
志賀本部次長	大きさで言うとストレッチャーが入る大きさということを覚悟しておりますので、高所から救助また傷病者等の搬送も可能というような車となっております。
平田委員	全然話の観点は違いますけれども、自衛隊の美幌駐屯地には消防車に類似した車両というのはあるのですか。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
中村消防長	2,000リットル級のタンク車が1台ありますね。
平田委員	救急車的なものは。
中村消防長	あります。緊急走行できるかどうかはわかりませんが。
志賀本部次長	一般の救急等には出動しませんので、自衛隊が出動する大きな災害になったときには駐屯地の車を出していただく。演習においては駐屯地の消防隊も参加していただいで一緒に訓練を実施しております。
木村委員	救急搬送の時に美幌の国保へ運ぶのか、北見や網走へ運ぶという判断はどういう形をするのですか。
中村消防長	直接搬送制度というのがあって、1つについては脳疾患で網走脳外もしくは道東脳外に運ぶ方が救急隊員が良いと判断した場合は直接搬送すると。後は、妊婦エントリーというのがあって妊婦さんがあらかじめ美幌消防に登録しておいて、もし自分の車で運べない時ですとかそういったときには119番していただけると、直接かかりつけの産科まで運ぶというものです。
木村委員	それはあらかじめ登録しておかなければならないのですか。
中村消防長	<p>だめです。ただ、だからといって運べないということではありません。里帰り出産ですとか、急な旅行者の妊婦さんが陣痛始まった場合ですとかいう場合、かかりつけでなくても北見赤十字病院の産科の方に搬送するという体制になっています。</p> <p>もう1つが、町外へ直接搬送するというので、あらかじめ家族の方がかかりつけの北見赤十字病院、要は専門病院だとかに話して預め病院と家族の関連、搬送して良いという許可をもらって、それを救急隊員が確認して、運んでくださいということであれば直接搬送できるという制度があります。この3つが町外に運べる制度です。</p> <p>ただ、北見赤十字病院はですね、結構、グループホームの方が運びたいと言っているのですが、電子カルテに、町外搬送受け入れということではないとほとんどが却下されます。搬送可というような記述がないと受け入れができません。これは救急隊が頼んでもそうです。</p>
木村委員	わかりました。ありがとうございます。
三坂部会長	消防関係よろしいでしょうか。次に進めさせていただきます。ありがとうございました。
小室政策主幹	それでは今基本目標1が終わって次に基本目標5に入るのですけれども、今までの基本目標1の関係で行けば皆さんから意見をいただいた部分では、21ページの国際国内交流の中で消されている、観光物産交流の推進これはやっぱり残したほうがいいんじゃないですかという意見と、移住の関係で行けば、今すぐに移住されている人たちの協力を得て、いわゆるサポートをされながら移住促進に繋げるというようなことを言って欲しいというこの2つだと認識しているのですけれども、皆様の方から漏れているものはありますか。入れて欲しいですとか削除してほしいとかも





発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
田村教育部長	<p>このページの下の方になります、高等学校の関係でございますが、123ページの上段方に続きますけれど、道内では少子化に伴い生徒数が減少しており、公立高等学校の規模や配置の適正化の取り組みが進められていくということで、町内におきましても同様に児童生徒数の増加が見込まれないことから、多様な教育機会の充実と今後も生徒が安心して地元の高等学校に進学ができる様、高校と一緒に生徒確保の取り組みを進める必要がありますということで、124ページでございます。施策といたしましては、幼稚園の充実ということで、先ほど説明をさせていただいておりますが、子ども子育て支援制度により、民生部へ移行し、教育委員会といたしましては直接支援をすることはなくなっているところでございますが、今後新たに該当となる幼稚園がある場合には対応していきたいと考えており、実際には現状では無いということで、ただ制度としては残っておりますので、今後出てきたときには教育委員会で対応するか民生部の方の対応になるのかはまた協議をしながら進めていくことになろうかと思います。</p> <p>新たに加えた部分ですが、③小学校教育との連携接続の強化ということで、幼児期から小学校への円滑な接続ができる様、幼稚園との連携を強化していきたいということでございます。</p> <p>続いて125ページでございますが、ここは⑤の学校給食センターの充実ということで、給食センターの機械器具の年次的更新が終了し、今後は建物本体それから冷却塔の改修を行い、給食センターの維持充実に努めていきたいと考えております。他は変更ございません。</p> <p>続きまして126ページをお願いします。⑨少人数学級の推進でございます。よりきめ細かな学習指導環境を整えることを目的に、全ての小学校の全学年で、35人学級を推進しているところでございます。また、教育支援員の配置によりまして、習熟度別学習を実施することで学力の向上を図りたいということでございます。</p> <p>この教育支援員の配置につきましては、平成28年度から当初は2名3校を分担して、巡回しながら回るということで進めておりましたが、平成29年度から各校1名ずつということで、3名体制で配置をして習熟度別の学習を実施しているところでございます。</p> <p>127ページの※印の1番下に習熟度別学習ということで説明書きを記載しておりますので、ご参照いただきたいと思います。以上です。</p>
三坂部会長	次に質問をお願いします。
木村委員	<p>1つよろしいですか。高等学校教育の充実、間口確保のところなのですが、前回観光とかの部分で、会長がおっしゃられていた中学生の修学旅行を他市町村からもっと美幌に招いて、美幌高校の体験授業とかを受けることでもっと他市町から道外から学生が来るような形のPRをもっとやっていったら、ただの観光だけではなく間口の確保にも繋がるのではないかという意見が出ていたので、改めてそれを意見として提案させていただきました。</p>
三坂部会長	参考までに小学校中学校の子供たちは何人いるのですか。
奎師委員	小学校が1,000人位で、中学生が490人位。美中と北中を合わせて。
岩田学校給食主幹	7月現在で小学校が1,058名。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
以頭学校教育主幹	<p>中学生が505人。 トータルとしては1,400位。</p>
三坂部会長	<p>中学を卒業して、高校へ入るのに、美幌高校ではなくて他町へ流れているのは3から400人いるのか。</p>
平田委員	<p>卒業生は160人位しかないから。</p>
田村教育部長	<p>卒業生のうち大体3割が地元の高校に進学していただきます。</p>
以頭学校教育主幹	<p>来年の卒業というのが173名です。北中美中合わせて。</p>
平田委員	<p>私、高校の委員会に顔出させていただいて、色々な話も聞いて、今うちの自治会にも北中学校の2年生がいるのだけれども、美高に行かないのと言ったら、行きたいけど1番の原因は部活が無いと言っている。</p> <p>例えば、今卓球ブームで卓球を始めているが、美高には卓球部が無い。野球部が足りないとか。うちの子供は全部地元だったのだけれど、高校入るときに当時は農業高校と美幌高校があって野球をやっていたのだけれど美幌高校へ行けば下手だから使われないけれど、農業高校へ行けば使われるという感じで。</p> <p>卓球でも北見へ行けば万年2軍暮らしだけれど、美幌高校でやれば活動の芽が出るとか。だけど部活が無いから行けないとか。やはりそういう子供さんたちがたくさんいるらしいです。なのでそういうことから解決していくと、少しは地元に残る生徒が増えるのではないかと思います。それが何人になるか何十人になるかわかりませんが。</p> <p>それと先ほど木村さんが言ったように、前回の、大阪から高校生を呼んでやっているというけれども。高校生を呼んで美幌に大学があるわけじゃないので、残ってくれと言われても残るわけがないです。私個人は本州の中学生を呼んで、美幌にこういう素晴らしい実業科もある高校もあるから行きませんか。寮も揃ってますよと。そちらに力を入れた方が来てくれる可能性があると思います。今現在も兵庫県から1人、大阪から1人だとか現実的にいるわけだし、大阪の子なんかは僕が去年聞いたときには子供のために母親まで付いて来て、一般住宅を借りて暮らしてそこから学校へ通わせているとか。やはりそういう事例もあることだし。その子は確か兄妹でお兄さんと妹と2人で来ていると思います。そういうのがあるわけだから、もっと教育委員会が進めるのかどこがするのか分かりませんが、何らかの可能性を求めていけば少しは増える可能性があるのではないかと思います。</p>
三坂部会長	<p>美幌高校の問題は2期も3期も計画に載っている。次の対応策をどうしたら良いかというのは前々から出ている。今回だけではなくて。昔は色々な大学に進んでいけたけれどみんな地方に流してしまうと。そうすればどこを目安にするかと言えば、美幌高校が職業高校と言えば怒られるかもしれないけれど専門学校にしたら良いのかという話が出ている。それは何故かという、生徒数を減らさないために語学であれば語学専属の学校にしてしまうと。そうすることによって今の社会では語学ができる子はすぐ採用される。そういうことを考えると凄く良い。でもこれは道教委の問題だから、要望としてはそれ位しないといけない。良い例はもの</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
三坂部会長	<p>を作ったりしている食物科が色々なことをやっている。これは良いことだし、それに対する技術を習得するという対策をするというような。</p> <p>この間も高校へ行って食品衛生責任者の資格を取るのに講習会をやった。あれは7時間だから1日かかってやったのだけれども、全部で48人いた。この資格を取って何をやりたいのか聞いたら、食べ物を扱えと。その上に調理師の資格を取らないとだめだよと言ったが、今は衛生責任者の資格で仕事ができるから、そういうもので色々頑張って発想してくれば良いと思う。</p> <p>ところが赤平の高校がある。あそこは食育をやっている。学校教育でやっているのではなく部活でやっている。部活でやって生徒を育てている。地理的なものもあるだろうけれど、良い講師が来るから生徒も集まって本州からも来て、定員オーバーとなっている。</p>
木村委員	<p>美幌高校にしかない部活みたいなものがあったとしても良いですよ。</p>
三坂部会長	<p>全道の農業高校は全部そういう形でやっているから、どこの農業高校も独自で生徒育成のためにそういうことを作ってもらっている。</p> <p>そういう方法は色々あると思う。美幌は定員減らさないでください、何ししないでくださいと騒いでいるけれど、実際バックアップをしてやらないと生徒は残らないと思う。</p>
木村委員	<p>本州の高校から東京農大に来る人がいるじゃないですか。だから高校の段階で美高に来てもらい、そこから東京農大に行くとか、食とか農業のエキスパート目指してもらおうようなルートを作って提案していくというのも面白いのかと思います。美幌に大学が無いので。東京農大の指定校推薦とかありますよね。</p>
田村教育部長	<p>はい。あります。</p>
平田委員	<p>生徒が増えれば教職員も増えるから、町自体の経済的なものも良くなる。今美幌高校の先生が大分減って来ている。</p>
三坂部会長	<p>教育が充実した所には必ず人が寄ってくる。単身赴任は多いけれども。ここのレベルが高かったらそれなりに子供たちがどんどん来る。特殊なものがあれば。そういう対策も必要なのでは。北海道では赤平だけではなく音威子府に木材の専門にやっている高校もある。</p>
木村委員	<p>三笠高校もそうですよね。食料の部分にかなり力を入れて。</p>
奎師委員	<p>三笠高校は調理師の資格を取ったりね。</p>
三坂部会長	<p>三笠の場合は100%国の補助。建物が凄い。見てびっくりした。</p>
木村委員	<p>あそこまでできなかったとしても、美高に来なければ意味が無いというもの作らないとだめなのかなと思います。</p>
三坂部会長	<p>農業なら農業の基本をきちんとやって、技術的に美幌高校は絶対だというスタイルを地域の子どもたちに埋めつけければ良いと思う。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
木村委員	網走に東京農大あるけれど農業高校は無いじゃないですか。そう考えたら網走の近くで良い規模の町となるとやはり美幌高校となると思う。
三坂部会長	近くだから指導もしてくれると思う。そういうものも活用すれば。協議会で一生懸命頑張っていたら。色々な発想で生徒数を減らさないように良い学校にすれば良いのではないか。このまま行くとどんどん減ってしまうから。
木村委員	津別高校も今は定員が満員になりましたよね。
三坂部会長	大分出しているもん。
辻師委員	制服とか教科書とか色々なもの。
三坂部会長	それでも生徒集めるの苦労している。
木村委員	もちろんそうですけれど、苦労していても結果が出ている。
三坂部会長	<p>置戸に高校があるのだけれど置戸から汽車で来るといふのがあってはないか。けれど置戸でも職業科を出ているのは就職が100%良い。やっぱり技術だとかそういったものがないと働ける場所を第一に見つけられる学校が1番だと思う。</p> <p>前にも言ったことがあるのだけれど、和歌山の海南高校がそう。インストラクターを育成している。水産高校だから全然人が集まらなかった。どうやったら集まるかといったら当時バブルの後にインストラクターを作って、ボートのインストラクターだとか、色々な海の。沖縄や関西で引っ張りだこになって。</p> <p>そしてもう一つは語学教育をやっている。マンツーマン方式で生徒40人育てている。就職率は100%。そういうような形があるから、そうやって学校へ活かしてほしい。</p> <p>学校教育については非常に難しいものがあるけれど生徒がだんだんいなくなってくるから、若い人がいっぱい来ないとだめ。</p>
木村委員	全国から集められる位宣伝しないと。
三坂部会長	<p>元々反対だったのは教員が単身赴任をしてこっちに来る。北見からこっちに来てるのは何人位いる。</p> <p>根幹は何かというと、北見にいる方が自分の子供が上がるからそういうことをやっている。</p>
平田委員	けれど今は教員だけじゃないよ。社会がそうやって来ている。
木村委員	あと奥様が北見の学校というものもあるので中々難しいですよ。それもだめと言ったら教員を辞めなくてははいけない。
三坂部会長	<p>いずれにしても少しでも美幌へ来てもらって、そして地域の子どもたちと一緒に学校教育してもらおうのが1番良いんだよ。</p> <p>時間なので帰ります、さよならだったらサラリーマンと一緒に、教育の根幹をただ教えているだけだったら全部同じ。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
三坂部会長	父兄とのコミュニケーションも大事だから。よろしく頼みます。以上。
小室政策主幹	ちなみに今の中学生の修学旅行は意見として入れてほしいということ でよろしいでしょうか。
木村委員	そういう意味で入れられるならぜひ。
小室政策主幹	ただ修学旅行というのは中々道外であったら北海道に来ることができ ないと思います。
平田委員	だけどそれを言い始めたら何もできなくなってしまう。 可能性があるのだから美幌町に来たりするのであれば、可能性を求め て色んなことをやれば良い。
小室政策主幹	修学旅行という言葉の家入れなくても、町内外での中学生の発信とい う。
田村教育部長	<p>そういうような交流をきっかけとして美幌高校を知ってもらって、そ ういうような手法を使って全国に発信できれば、それをきっかけとして、 美幌を知ってもらって来てくれる方もいるのかなど。</p> <p>ただ美幌高校が、普通科と農業科で普通科の定員が2間口で80名、農業 科が地域資源応用科と生産環境科学科で40名40名なんです。農業科につ いては全道が学区になりますので、全道から美幌高校に来れる。全国か ら来る場合は、生産環境化学科の40名に対して5%という制限があります。 ですから40名の5%ですから2名について推薦で美幌高校に入れるとい うのがあるものです。</p>
木村委員	推薦ということですか。
田村教育部長	<p>推薦です。一般ということになると今いる地元の高校に行かないとい う手続きを踏んで、美幌高校を受験するということになりますので、そ れは手続き的な問題ですので、実際今も本州から来ていただいていますの で、そういうことでは寮もありますし、その辺をPRしていきたいなとい う風には思っています。</p> <p>それと今年の11月にですね、対策協議会を立ち上げたということで、 その中でも議論されたのが、なぜ皆北見の高校へ行くのだろうかという その辺を率直に今の生徒、それから保護者にも聞いた方がということで、 アンケート調査をした。その結果の中では、先ほど平田会長が言われた ような形で、部活が無いというようなアンケート結果もありましたし、 実際やっぱりラグビーとか吹奏楽をやるために特急に乗って遠軽まで通 学している子供がいたりだとか、そういう実態はあります。</p> <p>ただ、部活だけではなくて、将来の進路ですとか資格を取得したりだ とか、様々な要因がありますので、その辺を分析して対応していきたい なと思います。</p> <p>それと、道立高校なので、基本は道で配置計画を定めているのですけ れど、その中で北見の定数が北見の卒業生よりも多いという実態があり ます。だからどうしても余っている部分に隣の美幌、津別、訓子府、 置戸、それから佐呂間から子どもたちが集まっている。非常に美幌から も行きやすい環境にあるということで、例えば今の生徒の中でも、仲の</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>田村教育部長</p> <p>三坂部会長</p>	<p>良い友達が北見に行くから僕も行くというみたいな、本当に深く考えないで北見にという様な場合もあります。</p> <p>あと例えば進学の関係で行くと先ほど東京農大の話があったのですが、美幌高校からの推薦もありますし、実際農業科から帯広の畜産大学ですとか弘前大学のほうに推薦で行っているという実績もあります。その辺もやっぱりPR不足があったのではないかとということもありません。進路に関するチラシを作って配布したりだとか、そういう様なことも始めて来ているところですので、色々な手法使って何とか生徒確保をやっていきたいなと思っています。</p> <p>よろしいですか。では次お願いします。</p> <p><b>5-2 生涯学習の充実</b></p>
<p>田村教育部長</p>	<p>それでは続きます5-2になります。報告書は40ページになります。生涯学習の充実でございます。評価の政策の項目といたしましては、記載の5項目の政策について評価をしているところでございます。</p> <p>評価の結果の具体につきましては、60ページから63ページに記載をしているところでございます。</p> <p>進捗状況でございますが、ほとんどが実施中ということでその中でも完了8%というところで、完了した部分につきましては、町民会館の改修工事が完了したということと、図書館におきます、郷土資料のデジタル化が完了したというところでございます。</p> <p>達成度でございますが平均値が3.3から4.4、平均値で4ということで、非常に高い達成状況という風に評価をしているところでございます。</p> <p>今後の方向性でございますが、町民会館、図書館について一部事業が完了しておりますので、それ以外の部分につきまして継続してまいりたいと考えているところでございます。</p> <p>特記事項でございますが、まず①の生涯学習の推進体制の確立ということで、この部分につきましては社会教育関係各施設に専門職員を配置して、事業を推進することができたということで評価をしているところでございます。</p> <p>②の生涯学習関連施設の整備につきましては、町民会館の改修事業が完了しましたので、びほ一るとの連動制を図った地域交流の拠点施設として、整備をすることができました。今後施設の適切な管理運営に努めていきたいと考えているところでございます。</p> <p>④図書館、読書活動の充実につきましては、図書館が築後39年を経過し、経年劣化が見られるということで、施設の狭隘化も進んでいるということで、図書館の増改築に向けた検討を行ってまいりたいと考えております。</p> <p>⑤といたしましては、博物館の充実でございますが、博物館につきましては開館から30周年を迎え、企画展や特別展の充実等から入館者数も増加傾向にございます。その中で今年の3月には累計入館者数も300,000人を突破することができました。ただ、施設の老朽化が進んでいることから今後年次的に改修を更新しまして、来館者の利便性を高めてまいりたいと考えているところでございます。</p> <p>続きます中期の素案でございますが、ページ数が128ページからになります。この部分で変更となったところにつきましては、現状と課題で生涯学習の部分で行きますと、中段になります。老朽化した町民会</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
田村教育部長	<p>館の改築によりまして、びほーるとの利便性の向上が図られたことから、管内大会、全道大会を誘致することにより、様々な利用方法を町民に提供し、利用率の向上を図ってまいりたいということでございます。</p> <p>それと図書館の部分でございますが、今年度から町内小中学校5校に巡回司書を派遣いたしまして、学校図書館の管理をバーコードによる図書管理システムに移行するための支援を行っているところでございます。この辺につきましても、今後学校図書館の充実に図書館司書の支援をしてまいりたいと考えているところでございます。</p> <p>129ページであります。基本的な考え方と指標でございます。4つ目になります、平成30年9月に町民の利便性の向上、耐震化等を目的として改築した町民会館は、その施設機能を最大限に活かすとともに、びほーると連動した施設利用を提供するなど利用方法の啓発に努め、利用率の向上に努めていきたいということでございます。</p> <p>それと、図書館の関係でございますと、町民の利便性を考慮した新たなICチップなどの活用とともに、町内学校図書館のデータ共有を含めた図書管理システムの導入を図るとともに、ゆとりスペースのある図書館建設に向けて検討したいということでございます。</p> <p>施策でございますが、130ページと131ページに変更はございません。132ページにつきましては、図書館の建築年数を修正させていただいたところでございます。</p> <p>133ページであります。図書館グループのところで、こども未来絵本036事業の部分について、一部修正をさせていただきました。</p> <p>それと、博物館の充実のところでございますが、②の調査研究活動の充実ということで、学会等の専門研修によりまして、学芸員の専門性を高め、調査研究活動の充実を目指すとともに、その成果を体験活動それから展示活動などに活かしていきたいということでございます。</p> <p>変更点については以上でございます。</p>
三坂部会長	<p>では質問をお願いします。</p>
平田委員	<p>これ見たら図書館が老朽化しているということで、建て替えが目的とか目標とかそういうものはまだ全然定めてらっしゃらないのでしょうか。</p>
田村教育部長	<p>まだ具体的な検討はしていないのが現状であります。今後まずは教育委員会内部で検討進めながら、これから先はやはり町民の皆様からご意見をいただいたりとか、先進地の図書館の視察ですとかそういったところを研究しながら検討進めてまいりたいというところでございます。</p>
三坂部会長	<p>庁舎と一緒にやらなかったのか。</p>
田村教育部長	<p>庁舎改築の検討の中で、図書館といいますか複合施設ということで図書館の検討もしたところでございますが、今の役場の敷地の中に、庁舎と図書館を併設して立てるとのことだと面積的に難しいということであります。検討はしたのですが、複合施設については見送ったという結果でございます。</p>
三坂部会長	<p>次の庁舎は3階だろ。同じ金かけるなら4階にでもすれば良かったのに。また新たにやるとなったら莫大な金がかかるだけだから。</p>



発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
木村委員	滝川市は役場庁舎と一緒にしていますよね。
三坂部会長	<p>これから人口少なくなって来て、利活用するとなると、庁舎内にある方が便利だと思う。</p> <p>それと町民会館新しくなって良くなったのだけれど、会議をやるだとか色々な大会をやるのは良いのだけれど、しゃきっとプラザのえくぼのような喫茶の活用はこの場所では考えられないのか。常時でなくても良いけれど。</p>
田村教育部長	えくぼさんには清掃で入っていただいております。
斉藤町民会館主幹	えくぼに喫茶店のお話をしたのですけれど、現実言えばできないということでございます。
三坂部会長	常時でなくても大会のある時だけでも便利になると思う。そういった活用もあるのではないか。軽食とか簡単なものでも良いから。
木村委員	前の穂高さんみたいな。
三坂部会長	<p>あそこまで大きくなくて良いから、立ってでも良いから。そういうことでやれば良いかなと思う。えくぼの方もその時だけやれば良い。</p> <p>それともう一点。博物館の方だけれど、前から言われている、表の屋根はかかる予定はないの。何故かと言ったら、前から博物館協議会に言っているんだけど、あそこに金かけていろんなイベントや行事をやりますよね。あの部分が屋根にかかっていない部分ある所。玄関の所。あのホールに屋根がかかると音楽ホールにもなる。そうすると非常に利便性が良くなる。博物館という意味に欠けるかもしれないが、しかしそこに人が集まるということは、博物館に対する認識も高くなるわけだから。前から言っているのだけれど町は金が無いと言っているけれどあの位の屋根をかけた方が良い。</p>
田村教育部長	施設が老朽化して来ているということで、今そちらの補修の方を計画的に進めているのが現状で、今部会長が言われたように、その空いているところに透明な屋根というかそういうのを付けるということは今具体的な計画をしていないのが実情でございます。
三坂部会長	<p>あの屋根をかけることで幼児教育の根幹の場になると思う。幼稚園の遠足でも良いし小学校の低学年の遠足でもあそこに来て屋根があることによって色々なことができるから。</p> <p>博物館には元農業機械を置いていたけど今でも置いているのかい。</p>
鬼丸博物館主幹	今農業館は全て博物館になっています。
三坂部会長	<p>町は博物館だみどりの村だと騒ぐのは良いけれど、やはりそういうのを併用して使い易くやるというか利便性を高めるのは大事だと思う。費用としては結構かかるだろうけれど。</p> <p>例えば桜祭りでも雨が降ったら踊りも踊れないし何もできないけど、屋根があることによってがらっと変わる。楽器を置いても濡れない。あ</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
三坂部会長	<p>そこで野外演奏会をやれば非常に良いと思う。その辺も考えて利便性をもっと上手にやって町も考えていただきたいと思う。確かに古くなって来ているが、まだ建物で30年だったら大したことないから。</p>
田村教育部長	<p>それで今博物館でも、特別展ですとか企画展を色々学芸員が考えている中で、さっきも説明したのですけれど累計で300,000人を超えたりして、去年29年に累計で年間の入場者数も10,000人を突破したということでオープン当初からもだんだん右肩下がりに来てたのですけれど、最近もそのような形で入場者数も増えてきておりますので、今のところ学芸員と相談して、より魅力的な企画ですとかそういう様な形でお客様に足を運んでいただきたいなと思っております。</p>
三坂部会長	<p>増えてくるときに安心していただかぬ。増える時にそういう施設をちゃんとしてやらないと人ってまた戻ってくるから、民間施設と同じで人の来るときにのほほん構えていただかぬ。その時にちゃんとしていれば人がまた寄ってくる。そういう対応をするのが大事だと思う。グリーンビレッジだけではなく、対応しないとだめ。</p>
田村教育部長	<p>キャンプ場の利用者も年々増えてきていますし、その辺は振興公社との連携を図りながらイベントだとかを一緒にやったりだとか、これからも連携を密にしていきます。</p>
三坂部会長	<p>最初の建て方が間違っていた。あそこにもっと大きなもの建てていれば良かった。美幌で一番見晴らしが良いところだから。にもかかわらず華奢なものを作ったばかりに。当時委員会をやっていて、同じような建物が群馬県にもある。美幌にしかないと言っていてそんなことはない。地域地域に合ったものやらないと。例えばグリーンビレッジだって窓から外が見れない。そういう様なものは次々と直していかないと。博物館の方はよろしく頼む。あれはそういう形にしてせっかくやってきたのだから、お願いします。</p> <p>これは前にも言っているが、中々。総合計画を作って今まで実際に出来上がったというものがまずない。施設では。基本的な計画はあるけれども。よろしく頼みます。</p>
田村教育部長	<p>財政状況もありますのでその辺を見ながらということもありますけれど。ご意見をいただきます。</p>
三坂部会長	<p>はい。その他ありますか。</p>
木村委員	<p>びほ一るといふか町民会館ですけど、びほ一も町民会館も稼働率が高いということで凄いいいことだと思うのですけれど、私使わせてもらう側として、例えばアーティストを呼んで広く町民に楽しんでもらいたく、文化振興という様なことでやりたいということになったときに、アーティスト側のスケジュールに合わせるのってすごく大変なのです。でも、びほ一側のスケジュールの空いてる所に合わせなきゃとなるとその時点でできないよという風になってかなり頓挫といふか苦しくなることがかなり多いのですけれど、そこで質問と言いますか、町民会館なので、町民に広く文化振興で使ってもらうための建物ではあると思うのですけれども、言い方を悪く言えば、町民が自分たちの発表の場としてびほ一</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
木村委員	<p>るを使いますということで、こういう言い方をするのは失礼ですけど、びほーるを使うことが適しているかどうかというところってかなり難しいと思うのですが、それが本当に文化の振興につながるとかですね。それはアーティスト呼んでやるものも同じかもしれないですけど。失礼な言い方すると、同じ天秤にかけて話せるものではないと思いますが、町民が町民として使うものと外部から誰かを招いてとなると。他市町村から誰かと招いてやるとその分外貨も稼げるということで、町にもお金が落ちるとい部分でも影響というのは大きいと思うのですが。そういったびほーるの活用というか、住み分けというかそういう所はどういう考えがあるのかということを知りたいです。</p>
田村教育部長	<p>町民会館が今年の9月にオープンして、先にびほーるがオープンしてたのですが、非常に稼働率が高くて、今年で91%の稼働率。町民会館こちら新館についてはびほーるとちょっと違って貸館という様なことで整理をしています。ただ貸館の中でもこの会議室のように楽屋として使える機能ですとか、小ホールのようにステージを付けたらとか、中ホールでもできますので、稼働率が高い中でもそのコンサートとかイベントに合わせたものが選べる許容範囲が広がったのかなという風に思っております。</p> <p>9月からこっちがオープンしてますけれど、町民会館の方も色々な会議ですとか全道大会、全国大会の場にも使用されるということで、おかげ様で稼働率も良い状況なのですけれど、その辺文化振興というところで非常に難しいところはあるのですが、お客様との申し込みのやり取りの中で調整をしてやっているというのが実態なのです。かと言って使い辛くて町民の人に使われない施設だと何のために作ったのかというのがわかりませんし、今のところ教育委員会としては、高い稼働率で使っていることに対しては協力をしていきたいなと思っております。可能な限りアーティストを呼ぶときの協力ですとか調整等はしたいと思っはいるのですけれど。</p>
木村委員	<p>町民会館として、びほーるを使いたいですとなったときに、中ホールで大きいイベントがあつてそっちにスタッフが取られるからびほーるは空いてるのだけれど使えないとかというお話も聞いたことなのですが、これは逆に、こちらでその音響とか照明スタッフも全部用意しますのでびほーるを使わせてくださいという事は可能なのですか。</p>
田村教育部長	<p>可能です。</p>
木村委員	<p>逆に、びほーるのスタッフではだめだけれどここを紹介しますよということが出来るのですか。</p>
田村教育部長	<p>基本的にびほーるもそうなのですけれど、音響とか照明とか専門性の高い機械なものですから、誰でも触れるものではなくて、そのために委託をして専門の業者の人に入ってもらっていますので、それとうちの職員が入って実際運営をしておりますので、全て賄うというのは非常に大変な状況の中でやっています、これがびほーるも中ホールもということになると正直人手が足りないという様な現状であります。</p> <p>いつまでもそういう様な形で運営をしていくということは、こういう施設が増えて非常に将来的には難しいなと考えていますので、できれば、</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
田村教育部長	<p>本当はびほ一るができたときに、町内で操作のできる人を育成していきたいというような考えの下で、委託の人に入ってもらって進めて来てはいるのですけれど、現実問題としてそこまで後継者というか、町民の中でお手伝いしてくれるの人はいるのですけれど、専門的に操作ができるところまでの人がまだ育成されていないというのが現状ですので、その辺も含めてこれからは対応していきたいなと思います。</p>
三坂部会長	<p>それは大変なことなんだ。音更も常呂もそうなんだけど、直接やれるところはない。だから皆委託業者を頼んで専門職なり契約してそのときだけ。そうでもしないと年間プールでやるということにはならない。その経費が莫大にかかるから。意外にそういうのが増えている。だけどいづれにしても町民が利用しやすい方法でやってもらうのがありがたい。よろしいですか。それでは次の方に進ませてください。</p>
田村教育部長	<p style="text-align: center;"><b>5-3 青少年の健全育成</b></p> <p>はい。それでは続きまして評価報告書については41ページであります。5-3青少年の健全育成について説明をさせていただきます。評価につきましては、記載の2項目でございます。評価結果につきましては64ページに具体的に記載をしているところでございます。進捗状況は100%ということで全て実施をしているところでございます。達成度でございますが、平均値、項目ごと、相対的にも全て3ということである程度達成されているという評価をしております。今後の方向性でございますが、現状維持ということで今後も継続しまして活動を支援していきたいと考えております。特記事項であります。青少年健全育成団体との連携によりまして、見守りや巡視活動などを実施していますが、今後も子ども見守り隊への新規登録を呼びかける等見守り体制の整備を進めてまいりたいと考えております。中期の政策であります。135ページです。現状と課題、基本的な考え方と指標、136ページと137ページに施策と関連する計画ということで記載しておりますが、前期からの変更点はございません。以上でございます。</p>
三坂部会長	<p>これらについて質問をお願いします。</p>
木村委員	<p>コミュニティスクールの制度って、今後変わるような話は出ておりますか。これは変わった状態で盛り込まれているのですか。</p>
露口社会教育主幹	<p>いいえ。ここで言うコミュニティスクールは今で言う制度と全く違うものです。これは従来美幌でやっているコミュニティティースクール活動です。</p>
田村教育部長	<p>新しいコミュニティスクールについては、生涯学習ではなくて学校教育の方で今検討進めておりまして、学校ごとですとか地域で例えば旭小学校や美中とかそういう様な単位でコミュニティスクールをやりたいという様な考えであります。来年度から具体的に進めていきたいな</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
田村教育部長	<p>と思っております。</p>
木村委員	<p>そしたら現状は入っていないのですか。</p>
田村教育部長	<p>入っていないです。</p>
三坂部会長	<p>よろしいですか。それでは次の方へ進めてください。</p>
	<p><b>5-4 芸術文化の振興</b></p>
田村教育部長	<p>はい。評価結果報告書42ページであります。5-4芸術文化の振興でございます。</p> <p>評価につきましては政策で記載の2項目について評価をしているところでございます。</p> <p>評価結果の具体的な内容につきましては、結果の65ページに記載をしているところでございます。</p> <p>進捗状況でございますが、全て実施をしているということで100%の実施ということになっております。</p> <p>達成度であります。評価値が2.8から3、相対で2.9ということで①の芸術文化活動の促進で低い評価となっております。町民主体の実行委員会が主体的な活動に至っていないということでの評価でございます。</p> <p>他につきましてはある程度達成をしているということで評価をしているところでございます。</p> <p>今後の方向性につきましては、改善を図りながら継続をしてみたいと考えております。特記事項であります。①の芸術文化活動の促進につきましては、先ほども説明させていただきましたが、町民主体による芸術鑑賞事業の奨励で低い評価となりました。町民主体の実行委員会が主体的に芸術鑑賞事業ができるよう引き続き支援をしてみたいと考えております。</p> <p>②といたしまして、文化財や共同資料等の保全、継承は概ね順調に施策を達成することができたと評価をしておりますが、地域文化伝承者の発掘調査があまり達成されていない評価となったところでございます。これから地域文化の聞き取り記録を今後も継続してまいりたいと考えているところでございます。</p> <p>中期の素案につきましては、138ページから140ページまでということでございまして、変更点といたしましては、現状と課題の中で、町民会館の部分について若干文言を修正させていただいたところでございます。施策につきましては、現状のまま継続していきたいと考えているところでございます。</p>
三坂部会長	<p>質問よろしいですか。</p>
木村委員	<p>全然否定的な話では無いのですが、勉強不足で今更なのですが、文化連盟というのはそもそもどういう位置付けになるのですか。</p>
田村教育部長	<p>町内で様々な文化活動がありますけれど、その活動をやられている方または単体ですけれど、その共同体と言いますかその組織で、日頃町内の各団体を取りまとめしている団体ということになっております。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
木村委員	文化連盟に加盟してないけれど何か文化振興で頑張りたいという人がいるじゃないですか。そういう人たちを斡旋してるためにあるとかそういう位置付けでは無いのですか。
露口社会教育主幹	具体的にそうした活動は見えていません。結果としてどうなのかというのは、今活動されている方で、色々なサークル活動している中での総合的な団体であって、さらに新しくできてきたりというのはありますけれど、直接宣伝というところに力というはまだ入れていないところです。
木村委員	という事は、文化振興の部分を斡旋していくというのは完全に教育委員会として、文化振興担当という位置付けになるのですか。
露口社会教育主幹	大きな役割というものはあると思いますが、その関わりをどうしていくかの具体的な部分はまだ行動に伴った部分は申し訳ないですが。
木村委員	<p>広報とかで文化振興、要は文化振興とか事業やりませんかとか謳っているのを見るのですが、例えばあれをやりたいですという人と、どうやって良いかイメージが付かないから、やりたいけれどこれに応募する勇気がないとかという人たちも、色々というと思うのです。どちらもそうですけど、自分たちでノウハウがあったとしても無かったとしても、やはりサポートというか、そういったところに対してサポートがあるからこそできるという風になっていくと思うんです。</p> <p>だから、そういうサポートがちゃんと整ってます、その上でできますよということを謳おうとするのであれば、例えばその文化連盟さんとか文化振興担当の部分でもっと斡旋しますよとかという様な体制を整えれば、もっと美幌町ってやはり若い子たちの若い文化振興とかって少ないのかなって私は感じるんです。なので、そういうところ応援していこうと思うと、ノウハウがあって、もう熟練の方々ばかりという言い方になってしまいますけれど、ばかりやるよりも若い人たちがもっとやり易いような体制を整えるべきなのかなという風には思います。</p>
露口社会教育主幹	窓口的な部分は文化振興が社会教育にありますので。そうしたところがやはり中心となって、そしてその中で、その辺の窓口は間違いなく教育委員会が担っているかと思っていますので、力を入れなきゃならない部分だと思います。
木村委員	<p>私も個人的に自分でやりたいのは、自分で探していて得意な方だと思います。でも他の人たちは町の斡旋で自分たちの好きなアーティストを呼んでこうやって他の人たちに刺激与えられるようなイベントができるんだというのを、もっと皆に感じてもらえるようにするためには、もっと文化振興という位置付けの力を強めていただけたら良いのかなと思います。</p> <p>どうしても私は見えるのです。凄く忙しくても手が回らないように見えてしまいます。正直言って。そうではなくて余裕を持ってという事態でもないですかもしれないけど、もっと大きい間口を広げて、いつでもサポートしますよ若い人たちがやりたいことを斡旋しますよというような形で、斡旋できる組織というか窓口を作っていただけたらと思います。</p>
三坂部会長	よろしいですか。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
三坂部会長	博物館で収蔵庫の問題があるが、旧美中に置いてあるのかい。
鬼丸博物館主幹	一部旧美中にもあります。
三坂部会長	これは前から話をしていたが、収蔵庫があまり遠くに離すというのも問題があるのではないかと博物館協議会の方で出ていたと思う。そういうところの対応策は全然考えていなかったのか。
鬼丸博物館主幹	1番良いのは博物館の近くに建てたほうが良いと思います。
三坂部会長	これは博物館協議会で昔から出ていた。資料があまりにも多すぎて色々なものがあって置くところがないと。ところがとんでもないところに置いていたとかということがあったので、1カ所に集約できる場所があれば良いなという話があった。美中までといったら運ぶのも大変だけどやはり傍に倉庫があるというのは大事だと思うので。その辺は町としても考えてやれば良いのかなと思う。あればそこに運べば良いというものではないと思う。
田村教育部長	今はですね、財政的な問題もあって旧美幌中学校に収蔵しているというような状況でありますので、それがいつまでというのは具体的にはなってはいませんが、その辺は将来的には財政状況も含めながら課題ではあるのかなという風には認識をしているところであります。
三坂部会長	これは何十年間も言われていて、行政で考えなければならない。
田村教育部長	温度管理ですとかそういうところで倉庫というかそういうものにはならないものもある状況です。そういうものを置いているのですけれど、やはりそういう収蔵物の現場ですとか価値ですとかを考えながら検討しなければいけないなと考えてはいるのですけれど。
木村委員	なかなか難しいですよ。収蔵するための建物作るというのは。
三坂部会長	町で買ったりもらったりして寄贈してもらったりしてるものもたくさんあるのだから。絵画にしたって何にしたって。けど、ある程度の面は、ある一部の段階から考えなくてはならない。それが大きい建物でなくても、収蔵する場所をきちんと。なんでもなくても収蔵できるものもあるのだから、その辺は分別してやっていかないとせっかくもらったものでもだめになってしまう。
木村委員	一応そういう風な形にしてるんですよ。
三坂部会長	<p>だけど、なるべく博物館のそばにあった方が良いということは事実だから。</p> <p>1番最初に思ったのは、東京電波の跡地に持って行けば良いなと思った。あそこは平屋建てだし耐震だとかそういうのも心配がないし精密機械を作るところだから地盤はしっかりしている。町としてはもったいないことをした。</p>
木村委員	そういう意味で考えたら、図書館とかの蔵書とかもかなり一杯ですよ

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
木村委員	ね。一緒に保管できる建物だとかっていうのあっても良いのかもしれないですね。
田村教育部長	図書館も当時は50,000冊の蔵書で今は3倍ですね。
三坂部会長	当初は大きかったけど今は小さくてどうにもならない。
木村委員	絞っていくのは難しいですよ。一度絞ってしまったら大変ですよ。
三坂部会長	それでは良いですか。次に進めさせていただきます。 次のスポーツの方よろしくお願いします。
田村教育部長	<p><b>5-5 スポーツの振興</b></p> <p>評価結果報告書43ページであります。5-5スポーツ振興であります。評価でございますが、施策といたしましては、記載の3項目の評価ということでございます。</p> <p>評価結果の具体的なものについては、66ページと67ページに記載をしているところでございます。</p> <p>進捗状況といたしましては、未実施それから完了した部分もございしますが、約9割弱で実施をしているところでございます。完了した部分につきましては、パークゴルフ場の整備の推進ということで、平成29年度に整備が完了しているところでございます。</p> <p>達成度につきましては平均値が2.5から3.3、相対で3ということで概ね達成したという評価をしているところでございます。今後の方向性であります、事業の拡充を図りながら継続してまいりたいと考えているところでございます。</p> <p>特記事項であります。</p> <p>①の生涯スポーツの振興につきましては概ね達成できたという評価をしておりますが、スポーツ振興計画を策定することができていないということで、今後策定に向けて他の計画との整合性を図りながら取り進めてまいりたいという風に考えているところでございます。</p> <p>②スポーツ施設の整備活用ではパークゴルフ場環境の整備、スポーツセンターの耐震化、クロスカントリーコース整備のための圧雪車の整備など概ね政策を達成できたと評価をしているところでございます。</p> <p>今後は屋内多目的運動場の建設に向けて、町内スポーツ団体の意見を聞きながら整備を進めてまいりたいと考えているところでございます。</p> <p>中期の素案でございます。141ページでございます。現状と課題の変更のところでございますが、中程にあります、既存スポーツ施設の老朽化し、耐震補強が必要なことから、スポーツセンターの耐震改修を行うとともに、新たに屋内多目的運動場の整備を進めていますが、今後もトレーニングセンターの耐震化なども重要な課題となっているところでございます。</p> <p>スポーツ団体の活動が活発に行われており、優秀な成績を収めておりますが、活動支える方の高齢化、それから指導者不足が課題であるということで、指導者の育成と活動支援を推進していく必要があると考えております。</p> <p>それから、国内トップチームのスポーツ合宿において少年団等への指導によって技術力の向上が図られておりますが、受け入れ体制や、宿泊、</p>



発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
田村教育部長	<p>練習会場の調整などの課題があるということでございます。</p> <p>基本的な考え方と指標については、変更ございません。</p> <p>施策であります。142ページであります。施策の変更点で行きますと、143ページに体力向上の取り組みということで、成人の運動実施率、子どもの体力向上のためにスポーツ団体等との連携協力を図り、運動機会の提供及び指導を充実させていきたいと考えております。</p> <p>既存施設の耐震化であります。既存施設の耐震化を早期に進め、施設の長寿命化に努めてまいります。現在スポーツセンターの耐震化工事を進めているところでございますが、今後トレーニングセンターの改修も含め耐震を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>②多目的ドーム、当初多目的ドームということで施設の名称としておりましたが、屋内多目的運動場ということで変更しているところでございます。冬季間でも屋外競技の活動が可能な屋内多目的運動場の整備充実を図ってまいりますということで、本年度基本設計が終了しまして、現在実施設計をしているところでございます。実施設計完了後、平成32年の完成を目指して工事を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>③のパークゴルフ場の整備につきましては完了しているため、削除させていただきたいということであります。</p> <p>次にクロスカントリーコースの整備であります。圧雪車導入及び夜間照明の拡充によりまして、クロスカントリーコースの整備充実を図り、選手の育成、町民の健康維持と体力増進を図ってまいりたいと考えております。</p>
三坂部会長	<p>説明については以上でございます。よろしく申し上げます。</p> <p>よろしいですか。</p>
平田委員	<p>良いですか。143ページの③にパークゴルフ場の整備推進が全部終わったということで、新たな方針は良いのですが、今の施設がどうかということは無いのですが、やってる人たちから言えば美幌は非常に芝の管理などが悪いというのですよね。特に津別さんあたりと比べると、やはり芝が悪くて、管理は役場も直接ではなくどこかの団体さんに任せてやってらっしゃると思うのですけれど、そこに従事している人たちの姿勢もあまり評価されてないように見受けられるのです。美幌町民から。</p> <p>そこら辺役場さんとしてどのような対応されて、この整備は終わったということですから、これ以上芝が悪くなったとしても、芝の整備はこれとは別なのかどうかそこら辺は教えてください。</p>
田村教育部長	<p>この項目につきましては、新たにパークゴルフ場の整備をすることを止めたということです。新たな場所で整備をするということを進めていたのですけれど、現状ではパークゴルフ場整備充実を図るということで、平成29年度に方針を変えました。芝の張り替えですとか、トイレそれから休憩所を設置したりですとか、整備を進めてきたところでございます。</p> <p>芝の管理につきましては、委託をして実施しているところでございます。現場としては河川敷にあるパークゴルフ場ということで、管理には非常に制限があって、あれだけの広いところなので、散水する施設が限られているものですから、散水の関係ですとか、それからたんぼぼが出たときに、河川敷ですので農薬を使うことができませんので全部手で抜いたりだとか、対応しているところであります。</p> <p>その中でもパークゴルフ協会の皆さんにも協力していただいて、たん</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
田村教育部長	<p>ばば抜きですとか全体的で取り組んでいるところでもあります。芝の管理が悪いというご指摘でございますが、そのような指摘も受ける場合もありますし、逆に非常に良いという様な評価も一方ではございまして、町外から美幌のパークゴルフ場に来ている方ですとか、川湯のホテルに泊まったりして美幌に来て団体でパークゴルフをやっているというような現実もございます。芝の管理が悪いというご指摘については、率直に受けまして、きちんと芝の管理ができるように努めていきたいと考えておりますので、その都度対応していきたいと思っております。</p> <p>それと芝生の管理に従事している担当者の姿勢は、私は非常に一生懸命やってくれていると評価をしております。作業している作業員さんもそうですし、やっている人たちも同じパークゴルフ協会の人たちも同じなんですけれど、やはりパークゴルフ場を良くしたいという思いが強く強いです。美幌の今の河川敷のパークゴルフ場というのは元々少年球場があって、パークゴルフ場ではなかったのです。そこパークゴルフ協会の人たちが手作りで少しずつ増やして行って今の80ホールまで増やしていったんです。だから他の所は元々ゴルフ場があったところをパークゴルフ場にした置戸みたいなのところもあるのですけれど、良くしたいという思いは従業員もやってる人たちもその思いはかなり強いです。その中で、芝の管理のやり方で手法が違うのでどうなんだという意見はございますが、一生懸命利用者のためにやっているということですので、その辺はご理解いただきたいと思えます。</p>
平田委員	<p>他の町民がやってどうこうじゃなく、僕が耳にしたのは美幌パークゴルフ協会に入っている会員さん達がそういう管理者と意見の違いで諍いがあったりだとか、そういう話を訴えていた人がいたものですから。お互いギブアンドテイクでやっているのではなくどちらかが我を貫くような姿勢が多くて、一方が不愉快を与えてしまっている。そういうことが現実に起きているみたいですね。それはお互い人間ですから。でもやはり何でも利用者の言いなりばかりでは何事もだめですけど、商売では無いんですけど。確かにそういうツアー組んだりしていただけることもありがたいことだと思いますし。やはり何より美幌は利用料が管内で1番安いということなので、安いということは良いことですが、安いということは収入より費用がかかることだから税金や何かを投入してやってらっしゃるのですから、町民だけの還元であれば良いけれども、他町村からたくさん来れば、美幌町民だけということではなく、利用してくれるという人ということでは良いかもしれませんけれど。</p> <p>ただパークゴルフ場だけ安くて他のスポーツ競技場の入場料だとか特段安いのか安くないのかは知らないけれど、標準より下げているということは無いですよね。例えばスポーツセンターの使用料が2,000円で使えるものが1,000円にしますよとか無いですよね。パークゴルフ場というのは管内を見ても100円でやっているところはないです。道内を見ても。それだけ維持管理費がかかるにもかかわらず100円でやっているという事は、それだけ一部の町民に対して徴税を持ち出してやっているということだと思う。そういう町民に対する愛好姿勢があるのであれば、全ての施設はそういう形でパークゴルフ場に合わせた様な考えでやれば良いと思います。パークゴルフをやる人だけに特別扱いをするのだけじゃなくて、他のスポーツをやっている人の振興や何かに対してもやれば良いと思うし、そこが僕からすれば矛盾してるのかなと思います。なぜパークの人だけそういう価格でできるのかと。他へ行った事はありませんけれども、</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
平田委員	500円とか600円とかという話も聞きますから。そこで美幌100円ですから。相当安いのかと思います。
田村教育部長	<p>コースの整備の関係につきましては、シーズン前、シーズン後にパークゴルフ協会、それから管理をしている体育協会と教育委員会が入りまして3社でシーズン前にそういう整備方針ですとか要望等を受けて、確認を取って、シーズン後にも、スポーツシーズンを振り返って反省をして来年に向けての協議ということでやっておりますので、今後もそういう様な協議を続けながら喜んでもらえるようなコース作りをしていきたいと考えております。</p> <p>それと、パークゴルフ場の使用量料の関係でございますが、受益者負担の考え方でございます。原価計算でいきますと100円であそこの管理運営が全て賄うということができませんので、もちろん税金を投入してやっているというのが現状でございます。その中でどれだけ負担していただくのが良いのかというところで、パークゴルフ場だけではなくて、今施設を含めて使用料手数料の見直しということで。12月の定例議会の方で提案をさせていただきますして、特別委員会を設置し、その中でこれから協議をされていくというところでございます。その中でパークゴルフ場につきましては、100円の料金なのですけれど、それを200円という様な形で考えて提案させていただいておりますので、その辺についてはまた議会論議も踏まえて検討していくことになるかと思っております。</p>
平田委員	<p>パークゴルフはどちらかという若年層よりも高齢者層の方が多いかなという観点も当初あったのかと思うけれど、今スポーツセンターを利用している各スポーツ競技に関わっている人たちも結構高齢者の人。パークゴルフ愛好者と変わらないような人たちが色々なスポーツをやっているのが今現状なのではないかと思っております。単純に高齢者だから支出が大変なので、パークだけを特別扱いするのではなく、スポーツ施設を利用するにしても、スポーツサークルを利用するにしても、結構高齢者が多いと思っております。若い方より。決してパークだけを特別扱いということではないと思うのですけれど、ただパークだけが高齢者の集まりだから優遇しなくてはならないというものではないと僕は思うので、高齢者を優遇するのであれば他のスポーツ団体でも優遇した方が良いのではないかとそういう発想です。</p>
田村教育部長	<p>高齢者のスポーツやられる方の関係で、今パークゴルフ場は75歳以上の方については無料ということで、グリーンパスというものを申請させていただいて、無料でできるという工夫しております。今回使用料手数料の見直しの中でもそれについても検討いたしまして、改正していきたいなということでございます。</p>
平田委員	<p>パークが悪いという事だけではなく、なぜパークだけが75歳以上無料で、卓球サークルにしても何にしても80歳の人が利用しても75歳以上の人が利用してもそういう制度は無いですね。なぜ75歳以上の人だけをパークだけ特別扱いしなければならないのかなど。75歳以上の町民を特別扱いするのであれば色々なスポーツであってもそういうことをしても問題ないのかなと思っております。例えばサークルでスポーツセンターを使う場合に、パークゴルフ場がタダであるのであればスポーツセンターのサークルに加盟している人はタダにしたっていいのではないかとという発想</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
平田委員	<p>にならないのではないかとということでございます。なぜパークゴルフだけ75歳以上の人だけタダになって、他のスポーツのサークルをした人はただにならない。それは、パークの人はやっぱりほとんど元気だと思うけれど、例えばスポーツセンターの運動施設使う人だって結構高齢者の人もいる。さっき言ったミニバレーサークルにしても卓球サークルにしても80歳、75歳以上も結構いると思いますけれど、その人たちは同じ所管の施設を使うに当たって、なぜ同じ考えにした扱いをされないのかなと思います。</p>
田村教育部長	<p>今回使用料手数料の見直しの中でパークゴルフ場だけがという所の中での話で、平田委員が言われるように、町内の全施設と同じような扱いにという様なことではなく、検討したのは統一的にパークだけが出ているのでその辺を他に合わせるというような形で検討したというのが実際でありまして、その辺が受益者負担の中で料金体系の方を考えて出させてもらった。</p>
平田委員	<p>75歳以上だとパークゴルフはタダということであれば、高齢者の観点から行けば他のスポーツでも同じ待遇も当たり前じゃないかと思えます。別にお金を出したくないからということではないけれど、ただある種のもの75歳以上でしてて、ある種ものは全然関係ない様ではちょっと統一性がないのかなと感じます。高齢者に対する気配りというかね。高齢者の方がお金を持っていると言われてますから。僕はパークだけを75歳以上の人をグリーンパスを使えばタダになって、なぜ卓球サークルやミニバレーサークルが利用する人が当たり前に取りられるのかという。変だと思いませんか。</p>
田村教育部長	<p>その辺は今回の見直しの中で改正させていただいて。</p>
平田委員	<p>教育委員会としては75歳上の方はどんな施設を使っても無料で入れるという事で進めるということですか。</p>
田村教育部長	<p>パークゴルフ場の改正をして75歳上の方についても料金をいただくという様な改正をさせていただくこととしました。どの施設を使っても統一した扱いということで。</p>
三坂部会長	<p>よろしいですか。それについては充分検討してください。やはり美幌町に住んでいる高齢者が多いから、これからどんどん考えていかなければならないということは事実です。 ところでちょっと聞きたいのですけれど、この多目的ドームというのは何だい。これはどんなドームのことなの。</p>
田村教育部長	<p>今ですね、スポーツセンターの駐車場のところに建設を計画しているのですが、床を人工芝にして、夏のサッカーですとか野球とかテニス等の外でやるスポーツも冬場練習する場所がないということで、その屋内多目的運動場で冬場練習をしていただく施設ということで整備しております。</p>
三坂部会長	<p>広さは。網走のドーム位あるの。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
田村教育部長	そこまではないです。
浅野スポーツ振興主幹	アリーナの広さは、30メートル×36メートルの広さであります。
田村教育部長	テニスコート2面分です。
三坂部会長	<p>せっかく作るのならもっと広いものを作れば良い。美幌は何でも中途半端。中途半端なものばかり作って、色々な行事ができないのもそこなんだよ。やるのなら大きいものちゃんと作って活用できるものをやれと。そうしないと人って来ない。地元の人には遊びに来るかもしれないけれど、それだけじゃなくて、せっかく作ったのだから活用度を考えなければならぬ。その辺全くわからない。</p>
田村教育部長	<p>多目的ドームということになってたのですけれど、もう20年以上前に、ゲートボールが非常に盛んになった時に屋内のゲートボール場を美幌に作ってほしいという要望の中で、屋内多目的ドームということで検討したのが始まりでありまして、他の近隣の町村では屋内のゲートボール場が整備されている状況の中で、美幌も同じものということで計画を進めていたのですけれど、ゲートボールの人口も減少して来ているので、ゲートボール専用だけではなくて、多目的で使える施設が良いんじゃないかということでテニスコート2面分の広さの屋内多目的運動場ということで考えさせていただきました。それで、2階にランニングスペースを設けて、そのアリーナを使う以外にでも周回できるランニングコースと、ボルダリングの壁を設置してそこでボルダリングをやれたりだとかそういう様なことを計画しているところがございますので、野球やサッカー、テニスとかもちろんゲートボールもできますし、様々なスポーツに対応できるということでもあります。</p>
平田委員	天井の高さも結構高くなるということか。
田村教育部長	高くなります。
浅野スポーツ振興主幹	天井は8mです。
平田委員	スポーツセンターの屋根位あるということか。
田村教育部長	あそこまで行きません。
平田委員	<p>だけど、これだったらびほーるのさっき言ったイベントでやる部屋取り合戦が、さっきより大変なことになるでしょう。</p>
田村教育部長	<p>現状としては、夏のテニスをスポーツセンターのアリーナでやったり、フットサルとかサッカーもアリーナを使ってやっているの、冬場のアリーナのプログラム調整が非常に大変な状況がありますので、その辺を少しでも緩和していきたいというようなこともあるので、整備を進めているというところもあります。</p>
三坂部会長	<p>わかりました。それで今までずっとこうやってやっていた中で特にこれという意見があったら事務局の方へ言ってください。その上で調整を</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
三坂部会長	してもらおうという形にしたいと思います。
小室政策主幹	<p>それでは、今基本目標5の方も終わりましたけれど、ただ今委員さんの方からいただいた意見としては、まず、126ページの高校の間口確保の関係ですけれども、「また、中学校教諭へ美幌高校の特色や魅力」ということもありますのでここに「町内外」という文言を追加して欲しいという様な意見が1つあったということでまずよろしいでしょうか。</p>
三坂部会長	はい。
小室政策主幹	<p>それについてはまた事務局と教育委員会サイドの方でどの様なことができるか検討させていただきたいと思います。</p> <p>それと最後のスポーツの関係ですけれども、料金の関係は行政改革のところでもいろいろ利用料使用料の見直しとかというものの適正な価格というものもあるのでそこは置いて、平田委員からありましたパークゴルフ場という言葉がありましたけど(2) スポーツ施設の整備活用の所の④既存施設の維持及び更新のところ、施設の維持管理、利用しやすい環境整備に努めるみたいなその様な文言があったということで解釈してよろしいでしょうか。そこ追加した方が良いということで。</p>
平田委員	<p>大多数の人では無いですからそれは別の形で。そういう意見もあったよということで。</p>
小室政策主幹	<p>わかりました。それではこのところは、先ほど言った高校の所の中学生向けに魅力ある発信は、町内外に伝えるという文言追加というか、そのような修正という意見の1点ということで、後ほど教育委員会と調整させていただきます。</p>
平田委員	<p>それより、年齢を区切って70何歳以上とか80歳以上とかそういうことをするのであれば、特殊な様態だけではなくして、ここで言うことでは無いかもしれないけれど、行政改革の方なのかもしれないけれど、そういう一貫性を持ってやってほしいと思う。</p> <p>しつこいですけど、パークゴルフだけ75歳以上がタダになりますよ、後は関係ないですよではなく、町が何十歳以上をどうしようとか何十歳以下はどうしようというのであれば全て対象になる人を平等に出来るような、そういうことをきちんとしてほしいと。パークゴルフだけでなく全てのスポーツ振興については75歳以上の人は使用料無料にするなら期間的にいつからいつまで無料ですよとかそういうことをするのであればね。だけど、パークゴルフ場は最盛期はそうするということですよ。最盛期というのは始まって終わるまでの期間ですけど。</p>
田村教育部長	<p>利用期間は5月から10月までですけど。</p>
平田委員	<p>冬はできるわけじゃないけど、それだったら博物館だってどこにだって入る時は70歳以上はもう町民の特権として無料にしますよとか、全ての施設利用はそういう風にした方が僕は良いのではないかと思います。</p>
小室政策主幹	<p>公平性ということで、同じ様な体系を取るなら同じようにするという</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
小室政策主幹	ことですね。
平田委員	タダが良いことじゃないけれど、例えば3割引にするのなら全てがそういう風にした方が良いのじゃないかと思います。ある種の種目だけをタダにするだとか特殊割引するとかではなく。
田村教育部長	その辺は委員会の中でも統一性を図っていきいたいと思います。
三坂部会長	生涯学習の中で運動関係を年齢で見えていくという方が無難だと思うよ。教育委員会の中で年齢を見るのではなく、町民の生涯学習の中で。
田村教育部長	もちろんそれは町として統一した見解の中で進めていきます。
平田委員	今団体がなくなってしまったので余談ですけど、青年会議所のOB会ってあるのです。当時年会費10,000円。70歳過ぎたら半額で良いという。ただそれが猛反発を食らって、なぜ70歳になったら半額にしなくてはいけないとなった。安くしたら怒られる場合もあるから。僕は差別して扱うというのはちょっとおかしいと思う。
三坂部会長	わかりました。今日で部会は終了しました。それで次に先程言ったように意見があれば事務局の方に出してください。あと特になければ事務局の方で。
長尾政策担当	皆様お疲れ様でした。部会長から今お話しありましたとおりの1部会の審議はこれで終了したいと思います。次の全体競技なのですけれど、日程調整表まだ提出していない方は提出していただきたく思いますのでよろしくをお願いします。
小室政策主幹	<p>次は18日ですけど、今第1部会の方全て検討事項が終わってますので、とりあえず18日は他の部会との兼ね合いもありますので、何もなければ18日は来なくてもよろしいという形になります。</p> <p>全体会議は1月に設けよう思っているのですが、今回第1部会として総務教育委員会の方を議論して頂きましたけれども、例えば他の部会の方、第2部会の民生の方や第3部会の経済建設の方、こちらの方に意見などがある場合は、その全体会議の前でもよろしいですし、全体会議でもよろしいですので、何かあれば意見をいただきたいという風に考えております。その辺は違う方の部会になりますけれど、目を通して何か気付いた点があったら言っていただきたいと思います。</p>
三坂部会長	そしたら18日は無しという事ですね。
小室政策主幹	まだわかりません。全部終わってれば全体会議が18日になるかもしれないです。追って連絡させていただきたいと思います。今第3部会がちょっと遅れていたのですけれど今日早く終わっていますので、全て終わったのか、あるいは途中で切ったのかがわからないので、もう一回もしかしたら第3部会は残っている可能性がある。第2部会は終わっています。全てが終わってれば18日が全体会議になる可能性もあるということでございます。その辺また連絡させていただきたいと思います。

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
平田委員	早めに連絡してほしいです。
平田委員	それと、この日がなくなって全体会議が1月になるのならその日にちも早く決めてほしいです。
小室政策主幹	日程調整ができた次第で連絡いたします。以上です。
三坂部会長	よろしいですか。それでは以上持って終わらせていただきます。ありがとうございました。
	了